

月刊 やちまなこ

2018. 4.15 発行

No.245

4月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

雪の消えた場所ではフクジュソウやエゾエンゴサクの花が咲き始め、釧路湿原に待ちかねた春がやって来た。昨年より半月ほど早く湖の氷も解け、蒼い水辺が広がる場所では水鳥たちが集まり盛んに餌を探したり、羽繕いをしている姿を見かける。湖面に氷があったころはオジロワシやオオワシが集まり、まるで一皿に盛り合わせたような様子を観光客はカメラ（今やスマホが主流？）に収めていた。どこからかオオハクチョウの鳴き声が聞こえた。どこだろうと見渡せば、上空高く北の方角へ編隊を組み飛んで行く。先週は自宅の窓がまるで額縁のように、夕陽を背景にヒシクイが飛んでいた。



塘路フィールドノート【3/15～4/14】

【野鳥】

塘路湖やシラルトロ湖は例年より早く全面解氷し、湖面は渡り鳥たちでにぎわっています。一方、オオワシやジロワシなどの冬鳥たちとはお別れの季節。そして冬鳥と入れ替わるように、もうじき夏鳥たちがやってきます。



オオワシ (塘路湖)

3月の下旬頃氷の上でよく見かけました。冬の王者オオワシとはしばしのお別れです



オオハクチョウ (塘路湖)

夕暮れに映えるオオハクチョウの飛翔姿。湖上を一列になって飛んで行きました



アオサギ (コッタロ湿原)

阿寒の山並みをバックに飛び立ったところ。彼方へと優雅に飛び去って行きました



マガモ (シラルトロ湖)

解け残った氷の上で見つけた群れ。この後、ワシの姿に驚いて一斉に飛び立ちました



ヨシガモ (塘路湖)

センターの対岸側で発見。冬鳥ですが、中には6月頃までとどまる個体もいます



コガモ♂ (コッタロ湿原)

今シーズンの初確認でした。♂♀合わせて10羽ほどで行動していたようです



カワアイサ (塘路湖)

センター沖合を飛ぶ小群。多い時は数百羽の群れがセンターの前を通過していきます



キンクロハジロ (塘路湖)

塘路湖で見る機会は意外に少ないカモ。カワアイサの群れの一角に混じっていました



ホシハジロ (塘路湖)

全国的には普通に見られるカモですが、塘路湖での確認はまれです。左が雄で右が雌

【植物】

雪解けが進んだ草原では、フクジュソウやフキノトウがあちらこちらで顔を出し春の到来を告げています。また、ハンノキは雄花が色付き始め、枯れ色の草原では、晩春や初夏の植物たちが徐々に芽を出し始めています。



キタミフクジュソウ (塘路湖畔)

センター前で昨年はなかった大株を見つけました。近年個体数が増えているようです



フキノトウ (コッタロ湿原)

二本松橋近くの斜面で見つけた雄株。例年塘路湖畔よりも早い時期に顔を出します



エゾエンゴサク (サルボ展望台下)

今春の初確認。この付近は日当たりがよく、例年塘路湖周辺では最も早く開花します



キジムシロ (コッタロ湿原)

コッタロ展望台周辺で芽を出し始めていました。あとひと月ほどで黄色い花を咲かせます



ハンノキ (コッタロ湿原)

道道 1060 号線沿いで見つけたハンノキの雄花。黄色く色づき始めていました



フッキソウ (コッタロ湿原)

雪の下で厳しい冬を乗り越えたフッキソウの越冬蕾。もうじき白い花を咲かせます

~~~~ アオサギの受難 ~~~~



雪解けの塘路湖畔を歩いていたら、水色の卵の殻を見つけました。殻には穴が開けられ、中身はありませんでした。これはアオサギの卵で、センター近くにあるカラマツ林にコロニーがあり、毎年繁殖しています。その卵をカラスがアオサギたちの隙を狙っては卵を嘴でくわえて飛んで行く姿を見かけることがあります。カラスたちも繁殖期に入り、栄養たっぷりの卵は御馳走です。アオサギ夫婦も卵からヒナが誕生して巣立ちするまでは、気の抜けない日々が続きます。

平成30年度 自然ふれあい行事予定表

<p>●早春の湿原 野鳥観察会 4月21日(土) 10時～12時 定員15名 早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●晩秋の湿原 野鳥観察会 10月27日(土) 10時～12時 定員15名 越冬のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>
<p>●春の湿原 野鳥観察会 5月4日(祝) 10時～12時 定員15名 繁殖のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●バードカービング初心者講座 3回目 11月11日(日) 11時～15時 2回目の続き。</p>
<p>●新緑の湿原 野鳥観察会 6月2日(土) 10時～12時 定員15名 新緑が目立ち始めたフィールドを散策しながら、野鳥観察をします。</p>	<p>●クリスマスリースを作ろう 11月24日(土) 13時～15時 定員10名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。</p>
<p>●縄文土器作り講座 7月7日(土) 10時～14時 定員15名 縄文時代の遺跡が残る塘路、当時の土器を参考にオリジナル土器を作ります。</p>	<p>●バードカービング初心者講座 4回目 12月2日(日) 11時～15時 3回目の続き。</p>
<p>●バードカービング展 7月22日(日)～8月12日(日) 10時～17時 平成29年度自然ふれあい行事「バードカービング講座」の参加者と講師の作品展です。</p>	<p>●連凧を作って揚げよう 1月5日(土) 10時～12時 定員15名 自作の凧に干支文字やイラスト等を描いて、新年を迎えた湿原の空に揚げてみましょう。</p>
<p>●釧路湿原 自然と歴史を訪ねて 8月11日(土) 10時～12時 定員10名 サルボ展望台周辺を散策しながら、釧路湿原の自然や遺跡を観察します。</p>	<p>●バードカービング初心者講座 5回目 1月6日(日) 11時～15時 4回目の続き。</p>
<p>●バードカービング初心者講座 1回目 9月8日(土) 10時～15時 定員10名 釧路湿原に生息する野鳥を参考に、角材を削り彩色して作品を作る講座です。</p>	<p>●釧路湿原フィールドウォッチング 2月9日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●バードカービング初心者講座 2回目 10月14日(日) 11時～15時 前回の続き。</p>	<p>●塘路フィールドウォッチング 3月2日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら塘路の自然や遺跡などを観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●ムックリ(口琴)を作ろう 10月20日(土) 13時～15時 定員15名 アイヌ人が使っていた楽器ムックリを作って、その音色を楽しみましょう。</p>	<p>※事前の申し込みが必要です。 (バードカービング展を除く) ※申込み先：<u>塘路湖エコミュージアムセンター</u> ※定員に達し次第締め切りとなります。</p>

◆日出・日入時間 3/15(5:35,17:28). 3/31(5:07,17:47). 4/14(4:43,18:03)

～編集後記～

■冬將軍も在庫の雪を処分するように、湿原を白くする日がありますが、さすがに早春の女神には勝てないようです。植物や動物たちが徐々に活動し始めた湿原に先日ヒグマの足跡の情報があり、昨年はこの時期に山菜採りの人がヒグマに襲われました。フィールドを散策する際には鈴やラジオ、会話など人間の存在をヒグマに知らせるような行動をしましょう。またゴミは必ず持ち帰りましょう(食べ物の味を覚えさせない)。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料